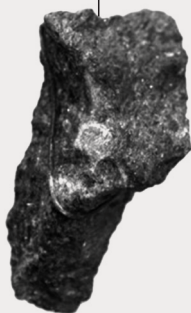


言葉以前の声、声以前の咽喉は、
この地球の大地の始原と共振するだろうか。



公演日 — 10月8日(土)
10月9日(日)
10月10日(月・祝)

開演時間 — 11:30 / 13:00 / 15:30 / 17:00
(開場は各回15分前)

定員 — 各回50名(先着順・入替制)

会場 — **豊橋市公会堂 大ホール**
〒440-0806 愛知県豊橋市八町通二丁目22番地

- ・国際展チケットの提示で入場できます。
- ・豊橋地区のみの限定チケット(300円)も可。
- ・中学生以下は無料。

AICHI TRIENNALE 2016

Sound Performance by Three whistlers

Lifespan

— Japan Premiere

Direction : Allora & Calzadilla

Music : David Lang

First Performance : 2014

Duration : 15 minutes

あいちトリエンナーレ2016

ライフスパン

三名の口笛と息吹によるサウンド・パフォーマンス — 日本初演

監修：アローラ & カルサディーラ
作曲：デヴィッド・ラング
初演：2014年
上演時間：15分

出演者：10月8日／10日
中村麻梨恵 (ソプラノ)
石黒崇真 (バリトン)
宮嶋駿人 (バリトン)

指導：森雅史
(名古屋音楽大学声楽コース専任講師)

10月9日
菊池京子 (ソプラノ)
成田七香 (ソプラノ)
西端祐哉 (テノール)

[主催]
あいちトリエンナーレ実行委員会
[協力]
名古屋音楽大学／名古屋芸術大学

牛島安希子
(名古屋芸術大学サウンド・メディアコース非常勤講師)

プエルトリコを活動拠点とする、アローラ & カルサディーラは、一つの対象に対する徹底的なリサーチとこれに基づき鋭い解釈、そしてクリエイティブなアプローチで、我々に見えてくる世界とそれに対しての我々の応答を作品化しつづけるアーティストのデュオである。SF作家であるテッド・チャンのテキストにもとづく映像インスタレーション《グレート・サイレンス(偉大なる沈黙)》(あいちトリエンナーレ会期中は、愛知県美術館10階展示室で公開)では、プエルトリコのアレシボ天文台から地球外生命との交信を続けようとする人類、そしてこうした人類の活動を見守る、絶滅にも直面したオウムとその語りが示される。規模や観点が異なるものの、人類とオウムからの他者との出会いを求める行為の深さと困難が、響きと沈黙のあいだで描写される。あいちトリエンナーレの会場地となる豊橋市の公会堂ではデヴィッド・ラングが作曲し、アローラ & カルサディーラが監修するユニークなサウンド・パフォーマンス《ライフスパン》の日本初演が行われる。三名のパフォーマーたちが口笛と息吹で、冥王代と呼ばれる、46億年前に地球が誕生して以後、6億年の時期に出来た岩石であるカナダ・アカスタ片麻岩に宿る太古の記憶に呼びかける。震え揺れる石の軌跡は、冥王代の生の兆しと重なり合うだろうか。言葉以前の声、声以前の咽喉は、この地球の大地の始原と共振するだろうか。



《グレート・サイレンス（偉大なる沈黙）》2014年

アーティスト

アローラ & カルサディーラ Allora & Calzadilla

1995年より共同制作開始。サンファン（プエルトリコ）拠点。
政治的な衝突や緊張を、徹底的なリサーチと卓越した解釈で映像・彫刻・パフォーマンス化する作品で広く知られる。近年は、宇宙・地球規模の変動と人類学的なテーマを重ね合わせる叙事的な映像作品や、鑑賞者の経験を重視する音楽パフォーマンスが多い。第54回ヴェネツィア・ビエンナーレ（2011）アメリカ合衆国館代表。ドクメンタ13（カッセル、ドイツ、2012）や光州ビエンナーレ（2004、2008、2014）など国際展への参加多数。ニューヨーク近代美術館（2010）、フィラデルフィア美術館（2014-15）などで個展。

作曲家

デヴィッド・ラング David Lang

1957年ロサンゼルス生まれ。
ニューヨークを拠点に、様々な分野とジャンルで活躍する。カーネギーホールから委嘱された「the little match girl passion」は2008年のピュリッツァー賞を受賞し、2010年にはグラミー賞も受賞。アン・ハミルトンのような造形芸術のアーティストなどとも積極的に共同制作をしている。イエール音楽学校の作曲科の教授を務める。

出演者



中村麻梨恵



石黒崇真



宮嶋駿人



菊池京子



成田七香



西端祐哉

中村麻梨恵（ソプラノ） Nakamura Marie

金城学院大学芸術・芸術療法学科卒業。現在名古屋音楽大学大学院1年。ガラコンサート2013にてセントラル愛知交響楽団と共演。学生表彰学部長賞受賞、2013年度山田貞夫音楽財団奨学生。公益財団法人豊橋文化振興財団主催若手音楽家育成コンサートオーディションに合格し、リサイタルを開催。現在、吉田恭子、松下雅人の各氏に師事。

石黒崇真（バリトン） Ishiguro Soma

名古屋音楽大学音楽学科声楽コース卒業。在学当初より多くの公演に出演し、3年次にオペラ「ドン・ジョヴァンニ」にてタイトルロールでデビュー後、様々な役で出演している。名古屋音楽大学実技補助員。安城高校非常勤講師。ざぶ中日文化センター講師。声楽を松下雅人、田代雅子の各氏に師事。

宮嶋駿人（バリトン） Miyajima Hayato

名古屋音楽大学在学。主に愛知県内においてアンサンブル活動や演奏指導などの活動を精力的に行う。第38回名古屋音楽大学定期演奏会出演。第15回めいおん新春コンサート出演。大学1年次より声楽を学び、名古屋音楽大学学外公演「ドン・ジョヴァンニ」、「フィガロの結婚」に合唱として出演。チューバを亀山吉彦に師事。声楽を森雅史に師事。

菊池京子（ソプラノ） Kikuchi Kyoko

名古屋芸術大学卒業、同大学院音楽研究科声楽専攻修了。オペラ「フィガロの結婚」ケルビーノ、「椿姫」（抜粋）ヴィオレッタ等に出演。ソリストとしては、「第九」などで活躍。また、吹奏楽やオーケストラとの共演も多く、ユニークな企画のコンサートに多数出演。馬場浩子、河原廣之の各氏に師事。MARIMOの会会員。

成田七香（ソプラノ） Narita Nanaka

名古屋芸術大学卒業、同大学院音楽研究科声楽専攻修了。在学中より東海地方を中心に数々の演奏会やオペラに出演。2015年、名古屋出身の作曲家鬼頭恭一氏の「雨」を公式初演した際には、各種メディアにも大きく取り上げられた。これまでに声楽を大橋多美子、馬場浩子、河原廣之の各氏に師事。MARIMOの会会員。

西端祐哉（テノール） Nishibata Yuya

名古屋芸術大学卒業、同大学院音楽研究科声楽専攻修了。イタリア、フィレンツェにおいてLaura Toppetti 女史によるマスタークラスを受講、ディプロマ取得。大阪国際音楽コンクール入選。全日本ジュニアクラシック音楽コンクール入賞。福井県新人演奏会出演。声楽を碓井士郎、中島基晴の各氏に師事。

同時開催パフォーミングアーツ



Animal Religion（初来日） Chicken Legz（日本初演）

日程：10月8日（土）－10日（月・祝）14:00
・上演時間約60分
・13:30～上演前のパフォーマンスあり

会場：豊橋公園（豊橋市今橋町）

交通：豊橋鉄道東田本線（市電）
「市役所前」停留所下車、徒歩約2分

料金：国際展チケット（普通チケット、フリーパス又は豊橋地区限定チケット）の提示が必要。中学生以下無料。

主催：あいちトリエンナーレ実行委員会

サーカス学校出身のキム・ジロンとピアノや作曲を手がけるニクラス・ブロンベリを中心に、現代的サーカスにダンスと音楽の融合を図った作品を創作するユニット。現代生活の中にある奇妙に繰り返される習慣に着目することで、観客の内側にある野生的側面や不合理を目覚めさせることを試みている。今回はスペインの農場で上演したアクロバティックなフィジカルスペクタクルを豊橋市内で再構築し上演する。

photo：『Chicken Legz』2014 提供：Animal Religion



あいちトリエンナーレは3年ごとに開催する 国際的な現代アートの祭典です。

あいちトリエンナーレ2016

芸術監督：港 千尋

テーマ：虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅
会期：2016年8月11日（木・祝）－10月23日（日）
主な会場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋・豊橋・岡崎市内のまちなか
<http://aichitriennale.jp/>

問い合わせ先：

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局
〒461-8525 名古屋市中区東横 1-13-2
愛知芸術文化センター 6階
tel:052-971-6111 / fax:052-971-6115
E-mail: geijutsusai@pref.aichi.lg.jp



虹のキャラヴァンサライ
あいちトリエンナーレ2016